

- 地方公共団体が、廃校や古民家等の遊休公的施設を活用する「スモールコンセッション」に円滑に取り組めるよう、プロジェクトの初期段階における様々な課題の解決をサポートする**専門家の派遣**を行う。
- 具体的には、対象となる遊休公的施設を含む**エリアのビジョン**、当該施設の**現況**、当該施設に**求められる用途・構成・運営方針**や**事業手法等**を定める**プロジェクトの構想の策定**を目指す。

プロジェクトの構想の策定

エリアビジョン 検討

- ・対象となる遊休公的施設を含むエリアの目指す方向性・ビジョンの検討
- ・地域住民の意向の把握 等

施設現況調査

- ・耐震診断、法適合状況の確認、設備更新を含む施設の改修計画の検討 等

市場調査

- ・エリアが求める建物の用途・構成・運営等に関するマーケティング
- ・受託事業者となり得る企業の発掘
- ・収益性の確保等のための、周辺施設・事業との連携・バンドリングの検討 等

事業手法検討

- ・当該施設の利活用に最適な官民連携手法の検討 等

エリアのビジョン、遊休公的施設の現況、当該施設に求められる用途・構成・運営方針や事業手法等を定める**プロジェクトの構想を策定**

事業スキーム



委託

専門家（コンサルタント、建築士等）

派遣・サポート

【サポート内容】（一部でも可）

- ・エリアビジョン検討
- ・施設現況調査
- ・市場調査
- ・事業手法検討

プロジェクト
の構想の策定

地方公共団体

“スモールコンセッション”とは

廃校等の空き施設や、地方公共団体が所有する古民家等の空き家について、民間事業者の創意工夫を最大限に生かした小規模な官民連携事業を行うことにより、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取組。

城下小宿笹や（津山市）

伝建地区に立地する寄付された町家群を宿泊施設として整備・運営し、地域経済を活性化



写真提供：津山市

THE 610 BASE（福知山市）

廃校をいちご摘み体験ができる農園やカフェ等として利活用し、地域の賑わいを再生



写真提供：福知山市